

Interview @ KIZUNA

留学生ラウンジ「きずな」の取り組みとして、本学留学生の日々の学生生活などについて取り上げるインタビューを2021年8月12日に実施しました。

今回インタビューを受けてくれたのは、農学研究科の博士課程に在籍中のTala Bakhtiaryさんです。

Talaさんは、留学生スタディ京都ネットワーク主催の京都留学生 Short Movie Contest 2018 (<https://www.studykyoto.jp/contest2018/>) で作成された動画「Studying in Kyoto」が優秀賞を受賞されました。この動画がきっかけとなり、今回インタビューを依頼しました。

インタビュー当日の進行を担当したのは、本学の大学院生で、留学生ラウンジ「きずな」でチューターを務める“はなくら”さんと“たまみ”さんの2名です。

今回のインタビューは日本語で行われました。

※今回の取り組みは、本学の新型コロナウイルス感染症対策に準じて行いました。

1. Tala さんの、出身地はどこですか。

イランです。

わたしが住んでいる街は、湿度が高くなくて、空気が乾燥しているドライな感じですよ。気温は40度くらいだけど、空気はドライ。用事がないとずっと家にいます。京都の夏は4年目だけど、暑くてじめじめしていて慣れないです。



2. Tala さんはどんな勉強をしていますか。

今は、農学研究科の応用生命で、微生物の研究をしています。

コアタイムがあって、決まった時間帯に研究室に在室していないといけないのだけど、これはまだ慣れないです。

3. 日本に留学されたきっかけは何ですか。

日本が好きで、いろいろ留学について調べるうちに、日本（政府）による奨学金制度（※）があることを知ったのがきっかけです。

※2020年10月現在、本学には2,623名の留学生が在籍し、その中569名は日本政府（文部科学省）奨学金を受給しています。

参考：京都大学「日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学」

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/process/scholarship/monka>

4. 日本のどこが一番好きですか。

鴨川が好きです。リラックスしたいときは、憩いの場である鴨川へ行きます。

5. 日本で驚いたものは何ですか。

一番驚いたものは、トイレです。温水洗浄便座が一番びっくりしました。素晴らしい！

6. 日本とイランのギャップは何ですか。

毎日が比較的 안전한 ことです。

7. 京都留学生ショートムービーコンテストに応募するきっかけは何ですか。

動画作りに興味があって、とりあえずやってみよう・頑張ろうと思ったからです。コンテストの主催者は毎日の生活的なことをテーマにした動画を望んでいるのだと感じました。

8. 好きな日本食は何ですか？

日本食ではありませんが、タコライス！それから、餃子とすき焼きが好きです。

魚はにおいも味も苦手です、食べられません。海の食べ物が全部苦手です。

だから、おにぎりの「海苔」は、除いて中身だけを食べています。

それから、ラーメンの出汁に魚介が使われていると、食べられません。

9. きずなや大学のイベントで一番楽しかったのは何ですか。

きずなのイベントだと、三味線の時です。日本舞踊も浴衣を着て楽しかったです（※）。それから、農学部・研究科国際交流室のイベントの餅づくり（餅つき大会）も楽しかったです。

（※）留学生ラウンジ「きずな」では、本学に在籍する学生等を対象に、日本の文化や習慣を様々な角度から体験しつつ、新しい仲間に出会えるようなイベントを毎月開催しています。

参考：京都大学「きずな月例イベント」<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/kizuna/event>

10. 新型コロナウイルス感染症の影響により学生生活で変わったこと等を教えてください。

授業方法が変わりました。授業は現在、オンラインと対面の両方で実施されています。授業がオンラインになったので、遅刻しないように教室へ急ぐ必要がなく、嬉しかったです。そして、授業のためにたくさんの講義資料を紙で印刷していましたが、その必要がなくなりました。だから、少し環境に優しくなった気がします。

11. ステイホーム中は、何をしていましたか？

動画を見たり、刺繍などをして過ごしました。今日の髪の毛のアレンジ（インタビュー当日の髪形は、きれいな編み込みでした）もコロナ期間中にできるようになったものです。

刺繍は、ランチョンマットなどを作ることができます。クッションは小さいものなら、作れます。アニメが好きだから、映画とドラマも見ていました。



12. 今後の就職活動などの予定はありますか。

（もし日本で就職するとしたら）関西で就職したいと思っています。広島も好きだけれど、関西が大好きで離れたくないです。

大阪は、人が多くてにぎやかで、楽しんでいる雰囲気があって、人が冷たくない気がします。

13. 研究室の中で留学生は多いですか？

研究室の中で留学生はわたし一人だけでした。

研究室は自分で見つけました。研究室の探し方としては、まず初めに微生物の研究を行っている日本の大学を探しました。次に、志望教員にメール連絡をしたのですが、お盆で休み期間中だったので、返事が来るまでに少し時間がかかりました。

日本にお盆休みがあることは知らなかったもので、とても心配になりました。

志望教員とコンタクトを取ることは、大変な作業になるかと思います。

14. 今、何することが一番好きですか。

私は何もしないでのんびり時間を過ごすのが好きですし、アクティブに、旅行やバイクに乗ることも好きです。

また、友達とおしゃべりしたりすることも好きです。親切な方々に囲まれているので、日本での留学生生活を満喫しております。

「きずな」チューターより「インタビューを終えて」

“はなくら”さん

「Talaさんは、明るくてたくさん面白いお話をしてくれました。自分の目で見ているのと違う京都の住みやすさを、今回のインタビューで教えていただきまして、ありがとうございます。」

“たまみ”さん

「とてもフレンドリーな Tala さんのおかげで楽しいインタビューとなりました。京都や日本を客観視し、また世界情勢と生活の密着ぶりを身近に感じたことは私にとって貴重な体験でした。」

